平成26年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年８月５日

上 場 会 社 名	日機装株式会社		上場取引所　東
コ ー ド 番 号	6376	URL	http://www.nikkiso.co.jp
代　　表　　者	(役職名)代表取締役社長	(氏名)甲斐　敏彦	
問合せ先責任者	(役職名)取締役経営企画部長	(氏名)吹田　恒久	(TEL)03(3443)3711
四半期報告書提出予定日	平成25年８月９日	配当支払開始予定日	―

四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

１．平成26年３月期第１四半期の連結業績（平成25年４月１日～平成25年６月30日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年３月期第１四半期	21,022	0.7	82	△85.7	883	236.6	384	―
25年３月期第１四半期	20,867	17.9	573	155.6	262	―	△143	―

（注）　包括利益　　26年３月期第１四半期　2,375百万円(824.1%)　25年３月期第１四半期257百万円(△22.6 %)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年３月期第１四半期	4.98	4.98
25年３月期第１四半期	△1.86	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年３月期第１四半期	142,514	60,296	41.3
25年３月期	138,345	58,558	41.4

（参考）　自己資本　　26年３月期第１四半期 58,794百万円　　25年３月期 57,237百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年３月期	―	6.00	―	8.00	14.00
26年３月期	―				
26年３月期(予想)		8.00	―	8.00	16.00

（注）　直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．平成26年３月期の連結業績予想（平成25年４月１日～平成26年３月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期(累計)	53,000	14.5	2,700	10.5	2,700	30.7	1,700	89.4	22.04
通　期	114,000	10.0	8,500	13.6	8,500	△5.0	5,400	△21.7	70.01

（注）　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：　無
（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
新規 ―社（社名）　　、除外 ―社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　有

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無
②　①以外の会計方針の変更　　：　無
③　会計上の見積りの変更　　：　無
④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期１Ｑ	80,286,464株	25年3月期	80,286,464株
②　期末自己株式数	26年3月期１Ｑ	3,150,688株	25年3月期	3,149,881株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期１Ｑ	77,135,394株	25年3月期１Ｑ	77,151,867株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……P. 2
（１）経営成績に関する説明 ……P. 2
（２）財政状態に関する説明 ……P. 4
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 ……P. 4

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……P. 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……P. 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……P. 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……P. 4

３．四半期連結財務諸表 ……P. 5
（１）四半期連結貸借対照表 ……P. 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……P. 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記) ……P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) ……P. 9
(セグメント情報等) ……P. 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期の当社グループの事業環境は、工業部門では、エネルギー業界において、オイル＆ガス関連の開発投資は引き続き堅調に推移しており、LEWA製品を中心にポンプ製品の受注は好調を維持しました。医療部門では、国内医療機関の省力化ニーズの高まりや透析治療の高度化が進む中で、透析関連製品の受注は堅調で、売上もほぼ計画どおりに推移しています。

この結果、受注高は29,105百万円（対前年同期比17.4％増）、売上高は21,022百万円（同0.7％増）となりました。利益面は、医療部門で欧州子会社の販売低調による在庫増加の影響などで営業利益は82百万円（同85.7％減）となりましたが、円安基調による為替差益の計上などにより経常利益は883百万円（同236.6％増）、四半期純利益は384百万円（前年同期は四半期純損失143百万円）になりました。

◇セグメント別の状況

（単位:百万円）

		前第１四半期	当第１四半期	増減金額	増減率
受注高	工業部門	13,122	16,965	+3,842	+29.3%
	インダストリアル	10,469	14,057	+3,588	+34.3%
	精密機器	1,439	1,007	△431	△30.0%
	航空宇宙	1,213	1,899	+685	+56.5%
	医療部門	11,677	12,140	+463	+4.0%
	合計	24,799	29,105	+4,305	+17.4%
売上高	工業部門	10,237	10,572	+334	+3.3%
	インダストリアル	8,006	8,228	+222	+2.8%
	精密機器	1,015	603	△411	△40.5%
	航空宇宙	1,215	1,739	+524	+43.2%
	医療部門	10,630	10,449	△180	△1.7%
	合計	20,867	21,022	+154	+0.7%
セグメント利益	工業部門	234	134	△99	△42.7%
	医療部門	1,218	731	△486	△39.9%
	調整額	△878	△784	+94	－
	合計	573	82	△491	△85.7%

≪工業部門≫

工業部門は、その取扱製品により、インダストリアル事業本部、精密機器事業本部および航空宇宙事業本部の３事業本部に区分しています。

＜インダストリアル事業本部＞

ポンプ製品は、オイル＆ガス業界向けにLEWA製品の受注、売上が引き続き順調に推移しました。また、アジアの石油化学プラントなど向けのポンプの受注も堅調に推移しました。一方、LNG用ポンプは、中長期的にはLNG需要の拡大が見込まれていますが、当四半期は大口の受注案件がなかったことから、前年同期に比べて受注は減少しました。

システム製品では、原子力発電所の稼働停止や火力発電所のフル稼働に伴う定期検査の延期などの影響により厳しい事業環境が継続しています。

この結果、インダストリアル事業本部の受注高は14,057百万円（対前年同期比34.3％増）、売上高8,228百万円（同2.8％増）となりました。

＜精密機器事業本部＞

粉体計測機器は、国内では、景気が徐々に回復する中で、研究開発投資も緩やかに増加していますが、海外では欧州などで景気の先行き不透明感が継続しており、売上は伸び悩みました。電子部品製造装置は、スマートフォンやタブレット端末などの販売が好調に推移する中で、電子部品関連の設備投資に明るい兆しが見え始めました。

深紫外線LED事業は、サンプル販売を継続するとともに、事業化に向けたLED素子の初期量産体制の準備を進めています。

この結果、精密機器事業本部の受注高は1,007百万円（対前年同期比30.0％減）、売上高は603百万円（同40.5％減）となりました。

※当期より、一部の子会社の管理区分を精密機器事業本部からインダストリアル事業本部に変更しています（前年同期の売上高は291百万円）。

＜航空宇宙事業本部＞

航空機業界は、引き続き燃費効率の高い新型機への買い替え需要や新興国の格安航空会社の需要などが拡大しており、主要製品である逆噴射装置関連部品（カスケード、ブロッカードアなど）の受注、売上は順調に推移しました。

ベトナム・ハノイ工場での生産を開始したトルクボックスは、順次、静岡製作所からの生産移管を進めています。

航空宇宙事業本部の受注高は1,899百万円（対前年同期比56.5％増）、売上高は1,739百万円（同43.2％増）となりました。

以上の結果、工業部門の受注高は16,965百万円（対前年同期比29.3％増）、売上高は10,572百万円（同3.3％増）となりました。セグメント利益は深紫外線LED開発会社連結化（前年第２四半期から連結）による開発費増加の影響などで、134百万円（同42.7％減）となりました。

※工業部門では、インダストリアル事業を中心に納期が９月と３月に集中するため、第１四半期、第３四半期の業績は他の四半期に比べて低調に推移する傾向があります。

≪医療部門≫

＜メディカル事業本部＞

透析装置は、国内においては医療施設の省力化ニーズや最新の治療法に対応した機能への需要拡大が継続しており、主力の透析監視装置を中心に受注環境は好調を維持しており、売上もほぼ計画どおりに推移しています。海外では、ドイツの医療保険制度改訂や南欧の景気低迷などの影響で、欧州向けの売上が低調でした。中国では、昨年９月の当局認可取得後、現地合弁会社での生産台数が増加してきています。

消耗品は、ダイアライザーの売上が伸び悩む一方で、血液回路や粉末型透析用剤は引き続き順調に売上を伸ばしています。

以上の結果、医療部門の受注高は12,140百万円（対前年同期比4.0％増）、売上高は10,449百万円（同1.7％減）となりました。セグメント利益は欧州子会社の販売低調による在庫増加の影響などで、731百万円（同39.9％減）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第１四半期末の資産合計は142,514百万円となり、前期末に比べて4,169百万円増加しました。国内生産拠点再編に係る設備やNikkiso Vietnam Inc. の生産設備増強による有形固定資産の増加などが主な要因です。

当第１四半期末の負債合計は82,218百万円となり、前期末に比べて2,431百万円増加しました。賞与資金などに充てた短期借入金の増加などが主な要因です。

当第１四半期末の純資産合計は60,296百万円となり、前期末に比べて1,738百万円増加しました。円安基調に伴う為替換算調整勘定の増加などが主な要因です。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年５月７日に開示した予想数値からの変更はありません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当社の税金費用については、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,650	26,260
受取手形及び売掛金	33,429	30,311
商品及び製品	5,842	7,099
仕掛品	5,583	7,723
原材料及び貯蔵品	7,945	7,957
繰延税金資産	1,465	1,683
その他	1,994	2,483
貸倒引当金	△622	△677
流動資産合計	82,287	82,843
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,514	10,075
機械装置及び運搬具（純額）	2,980	3,111
土地	3,656	3,875
リース資産（純額）	141	127
建設仮勘定	1,925	3,290
その他（純額）	1,391	1,235
有形固定資産合計	19,610	21,715
無形固定資産		
のれん	22,115	22,264
特許権	249	259
電話加入権	42	42
リース資産	57	51
その他	2,307	2,844
無形固定資産合計	24,772	25,462
投資その他の資産		
投資有価証券	10,235	11,255
長期貸付金	4	3
繰延税金資産	264	176
破産更生債権等	17	17
前払年金費用	111	100
その他	1,058	957
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	11,673	12,493
固定資産合計	56,057	59,671
資産合計	138,345	142,514

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,620	14,476
短期借入金	8,242	11,822
1年内返済予定の長期借入金	11,137	11,215
リース債務	73	77
未払金	2,213	963
未払消費税等	59	9
未払法人税等	2,829	1,569
未払費用	1,617	2,910
賞与引当金	1,812	826
役員賞与引当金	52	13
設備関係支払手形	27	9
その他	3,388	3,845
流動負債合計	46,075	47,739
固定負債		
長期借入金	30,465	30,840
リース債務	134	109
繰延税金負債	2,237	2,656
退職給付引当金	446	448
役員退職慰労引当金	159	159
生産拠点再編関連費用引当金	176	171
長期預り保証金	12	12
その他	78	78
固定負債合計	33,711	34,478
負債合計	79,786	82,218
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,544	6,544
資本剰余金	10,700	10,700
利益剰余金	40,591	40,358
自己株式	△2,292	△2,295
株主資本合計	55,544	55,308
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,472	3,229
為替換算調整勘定	△779	255
その他の包括利益累計額合計	1,693	3,485
新株予約権	14	12
少数株主持分	1,305	1,489
純資産合計	58,558	60,296
負債純資産合計	138,345	142,514

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
売上高	20,867	21,022
売上原価	14,183	13,907
売上総利益	6,684	7,115
販売費及び一般管理費	6,111	7,033
営業利益	573	82
営業外収益		
受取利息	13	4
受取配当金	136	136
持分法による投資利益	12	20
受取賃貸料	38	34
為替差益	－	700
その他	99	97
営業外収益合計	301	993
営業外費用		
支払利息	214	157
為替差損	382	－
その他	14	33
営業外費用合計	612	191
経常利益	262	883
特別利益		
固定資産売却益	32	3
特別利益合計	32	3
特別損失		
固定資産除却損	2	7
投資有価証券評価損	222	158
ゴルフ会員権評価損	2	－
システム移行関連費用	50	－
特別損失合計	277	165
税金等調整前四半期純利益	18	722
法人税等	102	300
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△84	422
少数株主利益	59	37
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△143	384

四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△84	422
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△504	756
為替換算調整勘定	800	1,148
持分法適用会社に対する持分相当額	46	48
その他の包括利益合計	341	1,953
四半期包括利益	257	2,375
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	117	2,176
少数株主に係る四半期包括利益	139	199

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当第１四半期連結累計期間(自　平成25年４月１日　至　平成25年６月30日)

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント		合計	調整額(注)１	四半期連結損益計算書計上額(注)２
	工業部門	医療部門			
売上高					
外部顧客への売上高	10,237	10,630	20,867	―	20,867
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―
計	10,237	10,630	20,867	―	20,867
セグメント利益	234	1,218	1,452	△878	573

（注）１　セグメント利益の調整額△878百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間(自　平成25年４月１日　至　平成25年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント		合計	調整額(注)１	四半期連結損益計算書計上額(注)２
	工業部門	医療部門			
売上高					
外部顧客への売上高	10,572	10,449	21,022	―	21,022
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―
計	10,572	10,449	21,022	―	21,022
セグメント利益	134	731	866	△784	82

（注）１　セグメント利益の調整額△784百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。